



大学院の学生のみなさんへ 「ジャーナリズム・プログラム」のご紹介



神戸大学大学院法学研究科および法学部では、平成 18 年度より「ジャーナリズム・プログラム」を運営しています。このプログラムは、いずれも考え、議論し、書くことを重視した複数のジャーナリズム関連科目からなります。

大学院では、朝日新聞社から客員教授としてこられる嶋田数之先生が担当される「ジャーナリズム・ワークショップ I・II」を受講することができます。時事問題に関する論考を端的にまとめる訓練を行うインテンシブな授業です。最終的な成果物は「院説」という形の冊子にまとめられます（過去の院説はジャーナリズム・プログラムのホームページで閲覧できます）。

このほか、「地域ジャーナリズム・ワークショップ」（ご協力：神戸新聞）と「放送ジャーナリズム・ワークショップ I・II」も受講することができます。「地域ジャーナリズム・ワークショップ I・II」では、新聞記事の書き方を実践的に習得できる内容になっています。具体的には、外部講師の話聞いてそれを実際に神戸新聞に掲載される記事にするという作業をします（文章力が格段に高まることが期待できます）。

他方、「放送ジャーナリズム・ワークショップ」では、テレビ・ジャーナリズム（「映像メディア」）を通じた情報発信について、実践的な能力をつけてもらうための授業が展開されます。



「ジャーナリズム・プログラム」では、裏面にあるような多様な授業を開講します。最新情報は、<http://www.edu.kobe-u.ac.jp/law-journalism/index.html> から得ることができます。研究科のトップページ（「概要」⇒「研究教育プロジェクト」）にリンクがあります。①OB・OGからのメッセージ、②シラバス、③過去の成果物などを見ることができます。

放送ジャーナリズム・ワークショップ1・2

講師に朝日放送プロデューサーの小関道幸氏とディレクターの言美幸一氏をお迎えし、放送メディアを通じたジャーナリズムについてインテンシブな授業を行います。前期後期ともに、現役のジャーナリストをゲストに迎えて映像ジャーナリズムに関する理解を深めると同時に、実際にビデオカメラ、編集機材を用いた番組作成を通じて、映像表現を用いた情報発信力を実践的に習得していきます。

***月曜日 5時間目**

ジャーナリズム・ワークショップ1・2

朝日新聞社（論説・外報担当）から客員教授として講師の先生をお迎えし、論説委員室での社説執筆過程を再現します。担当者のプレゼンをもとに全員で議論し、その上で担当者がまとめた論説（「院説」と呼びます）に、講師の指導が入り、最終稿が出来上がります。これまで、学期末には成果をまとめた論集を出してきました。このほか、ジャーナリスト・研究者・実務家をゲストに招いたシンポジウムや勉強会を開き、日本が直面する問題について理解を深めてきました。

***金曜日 4時間目**

国際ジャーナリズム 1・2（特派員講座）

The Daily Yomiuri をテキストとし、これを毎日読んでいることを前提に、讀賣新聞社の元海外特派員が交代で、1（前期）では地域別、2（後期）ではテーマ別に、講義を行います。各回の授業では、直近の英文記事を取り上げてその意味を解説しつつ、担当者の取材経験に基づきニュースの背景や歴史的展開を説明します。

***木曜日 4時間目**

地域ジャーナリズム・ワークショップ

★今年度から前期だけの開講です

ジャーナリズムの基礎となるスキルや企画力・判断力を実践的に習得することを目指し、インタビュー・ルポルタージュ・調査報道などに通じる実践的な記事執筆作業を、神戸新聞社現役記者の指導の下、実践します。実際の授業は、ゲストに兵庫県・神戸市域で活躍する各分野の専門家を招き、地域社会についての理解を深めるとともに、それを新聞によく登場する「要旨」にまとめ、記事化する形で進行します。優れた記事は実際に神戸新聞紙上に掲載されます！

***水曜日 4時間目**

英文論説 1・2

International Herald Tribune/ The Asahi Shimbun（ヘラルド朝日）の co-editor であった先生のご指導のもと、同紙掲載の英文社説を講読し、日本の針路を左右する問題、社説を書いた背景、時事英語などについて、講師が適宜、解説・コメントします。定期的に当該社説を執筆した論説委員を招き、その執筆意図や内容が確定していくまでの議論のプロセス、社説への反応などを聞きます。

***金曜日 3時間目**

国際報道 1・2

アメリカ大統領選挙や地球温暖化問題は、国際報道のなかでどのように伝えられているのでしょうか。あるいは、日本の政治外交はどのように取り上げられているのでしょうか。本講義では、英字新聞（*The Daily Yomiuri*）の講読を通して時事英語に慣れるとともに、国際報道記事の読み方を学びます。

***木曜日 3時間目**